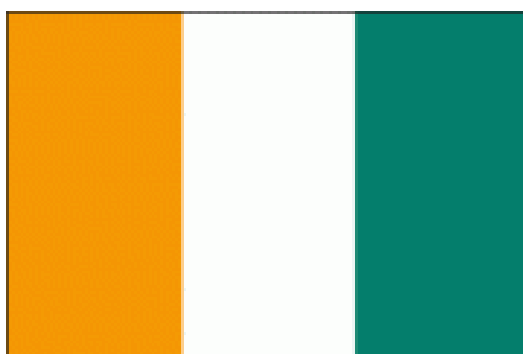


JICA 海外協力隊 赴任前留意事項

コートジボワール共和国



※本資料に記載の情報は、作成日現在のものであり、その後状況が変化している場合があります。記載内容については正確を期していますが、万が一誤りがあった場合には JICA は責任を負いかねますのでご了承ください。

※本資料は JICA 海外協力隊を対象としたものであり、その他の方には該当しない情報も含まれている可能性があります。

目次

1. 赴任時の携行荷物について
2. 別送荷物について
 - (1) 郵送・宅急便について
 - (2) 通関情報について
3. 通信状況について
 - (1) パソコンの普及状況
 - (2) インターネットの普及状況
 - (3) 携帯電話（スマートフォン）の普及状況
4. 現金等の持ち込みについて
 - (1) 現金持込にかかる注意
 - (2) 嗜好品の持ち込み制限について
 - (3) 両替状況
 - (4) 赴任時に用意することが望ましい金額について
5. 治安状況について（JICAの安全対策については、隊員ハンドブックを参照）
6. 交通事情について
7. 医療事情について
8. 蚊帳について
9. 任国での運転について
 - (1) 本邦、国際免許証の携行の要否
 - (2) 現地運転免許の取得手続き
 - (3) 車両の購入・輸送について
10. お問い合わせ
11. その他

はじめに

JICA 海外協力隊としてのコートジボワールへのご赴任、おめでとうございます。
現地で皆さんをお迎えし、共に 1~2 年間で過ごすことを JICA コートジボワール関係者一同、楽しみにしています。

コートジボワールは、1992 年に派遣開始しましたが、内戦による治安悪化の影響で、2002 年に全隊員が緊急帰国し、現在まで派遣が中断していました。

正常化にともない、2025 年度秋募集から募集を再開したばかりであり、他国に比べ、協力隊目線の情報が少なくなっています。また、近年の当国の経済発展は目覚ましく、情報が更新できていないものもあるかもしれません。ご了承ください。

本資料をきっかけに、インターネット等を通じて様々な情報をご自身で調べていただくこともお勧めします。

そして、皆さんと一緒に、新たなコートジボワール協力隊事業の歴史を紡いでいけると幸いです。

1. 赴任時の携行荷物について

※隊員ハンドブック 3-5 出発時の注意事項を必ず確認の上、ハンドブックに記載されている「手荷物として持参するもの」に加えて、以下を持参ください。

【手荷物】

- ・ 現金（20 万円相当のユーロ。4-3 の項目で補足）
- ・ クレジットカード（VISA が一般的に使用可能です）
- ・ スマートフォン（SIM フリー。SIM は現地で購入。生活に必要な WhatsApp を事前にインストールしておくことをお勧めします）
- ・ パソコン
- ・ 黄熱予防接種証明書（イエローカード、入国時に提示）
- ・ 受入確認レター（事前に旅行会社もしくは JICA 本部から送付します。データでも構いませんが、隊次で 1 枚印刷しておくとう安心です。Agrément と呼ばれる書類です）

【預け荷物でも可】

- ・ JICA 海外協力隊ハンドブック（電子データ可だが冊子が好ましい）
 - ・ 国際協力共済会ハンドブック（電子データ可）
 - ・ 表敬訪問用の服（ジャケット、パンツまたはスカート、ネクタイ等）
- なお、スーツケースは鍵付きのものにしてください。入居後、貴重品の保管にも有効です。

基本的に、生活に必要なものは現地で購入可能なので安心してください。パソコン、スマートフォンなども購入可能ですが、性能が良いものは日本よりも高額になるため、持参をお勧めするものです。

2. 別送荷物について

（1）郵送・宅急便について

当国への荷物の輸送は、国際郵便（EMS、国際小包（航空便/船便）、国際宅急便（DHL）などの利用がありますが、EMS が一般的です。以下の日本郵便 HP のコートジボワール宛を確認してください。

[国・地域別情報\(国際郵便条件表\) - 日本郵便](#)

その他、以下の点を補足します。

- ・ EMS 等の HP で番号追跡が可能な輸送方法をお勧めします（自身で到着を確認できます。ただし、追跡できても稀に紛失する場合があります）
- ・ 一般的に第 5 地帯は、EMS は 1~2 週間程度、航空便は 1 か月、船便は 3~4 か月程度で到着すると言われています。当国は湿度が高く、港での保管が長くなる船便はお勧めしません。
- ・ 宛先には、受取人の名前、以下の JICA 事務所の私書箱、住所、電話番号（代表）を宛先に記入してください。

【M/Mme/Mlle】 隊員名

JICA CÔTE D'IVOIRE OFFICE (JICA EN CÔTE D'IVOIRE)
04 B.P. 1825, Abidjan 04, Côte d'Ivoire
(2ème étage de GREEN BURO sis au quartier Banque Mondiale, rue BOOKER
Washington, Cocody, Abidjan)
Tel: +225 27 22 48 27 27/28 (赴任後は各隊員の番号でも可)

- ・ DHL などの国際宅急便は事務所まで届けてくれますが、かなり高額です。EMS 等は荷物が到着したら当地郵便局から連絡が届きます。または、自身で追跡番号を入力して HP 上で到着を確認し、アビジャン区内トレッシュビル市（タクシーでの移動圏内）にある国際郵便を扱う郵便局に回収に行きます。
- ・ 近年別送手荷物（通称アナカン）の利用はありません。

（2）通関情報について

自身の日用品の場合、関税を請求されることはないとされています。回収が遅くなると保管料を請求される場合があります。

3. 通信状況について

（1）パソコンの普及状況

地方まで普及しており、一般的な書類はすべてパソコンで入力されたものです。現地でも購入可能ですが、日本語配列キーボードはありません（いわゆる AZERTY 配列）。新品、中古等あり価格はバラバラですが、新品・中古ともに日本よりも割高です。

日本で購入するノート型 PC のアダプターは一般的に当地の 220V にも対応しているため、変換プラグ（フランス式/Cタイプ）を持参してください。

（2）インターネットの普及状況

地域差はありますが、インターネットも十分に普及しています。フランス系のオレンジ社か南アフリカ系の MTN 社が大手です。長期滞在者は、オレンジ社の光ファイバーを自宅に引いたり、ポケット Wi-Fi ルーターを購入したりしています。また、携帯電話網を利用したサービスも充実しています（以下金額は参考情報：最新情報はインターネット参照のこと）。

↓オレンジ社：光ファイバー（月額 15,000Fcfa から制限なし。契約金 10,000Fcfa と工事が発生）

[La boutique | Offres internet](#)

↓オレンジ社：携帯電話網（1週間、1か月など様々なコースあり。例：月額 20,000 Fcfa で 36 GB）

[Les Pass Orange | Orange Côte d' Ivoire](#)

↓MTN 社：ポケット Wifi（月額 20,000Fcfa で 100GB）

[Pocket Wifi - MTN CI](#)

（3）携帯電話（スマートフォン）の普及状況

十分に普及しており、田舎でもスマートフォンを使用している方もいます。当国では、モバイル決済が急速に発達しており、経済首都アビジャンであれば、タクシーや小さな商店でもモバイル決済が可能です（Wave 等）。

隊員は当地到着後、オレンジ社等の SIM を購入してもらいます（SIM 本体は 1,000 Fcfa）。各自持参したスマートフォンに SIM を入れてもらい、当地の緊急連絡先として関係者に共有しますのでご了承ください。そのため、SIM フリーのものを持参してもらうようお願いしています。

当地での生活に必須な、Yango（タクシー配車アプリ）、Wave（モバイル決済アプリ）等、生活の中でかなりの頻度で使用するものです（特にアビジャン）。また、**安全管理上、緊急時に連絡が取れるように連絡手段は常時携帯してもらう必要があります。**WhatsApp、Yango、Wave が利用可能な簡易なスマートフォンを持参する事も一案です。

4. 現金等の持ち込みについて

（1）現金持込にかかる注意

入国時の外貨持込額に制限はありませんが、100 万 Fcfa（約 25 万円）相当額以上の持込みは税関に申告する必要があります。

出国時の外貨の持出額は、在留外国人は 100 万 Fcfa (約 25 万円) 相当額、非在留外国人の場合は、50 万 CFA フラン (約 12 万円) 相当額の外貨が限度額となっています。以下、当国の税関の HP です。

[Voyageurs Nationaux et Non Nationaux | Les Douanes Ivoiriennes](#)

(2) 嗜好品の持ち込み制限について

嗜好品等の 1 人あたりの持込制限は以下のとおりです。制限内であれば免税ですが、それ以上の持込みは関税が発生するのでご注意ください。

1. タバコ類：タバコ 200 本、葉タバコ 150 グラム又は葉巻 25 本。
2. アルコール類：アルコール飲料 1 リットル。
3. 香水類：香水 75 グラム若しくは 60 ミリリットル又はオードトワレ 3/8 リットル
4. チョコレート 500 g

(3) 両替状況

アビジャン区内の銀行や両替所で両替可能です。1 ユーロ = 655.957 Fcfa で固定であるため、ユーロの持参をお勧めします。米ドルも可能ですが、2013 年以前の米ドルは断られることがあります。

(4) 赴任時に用意することが望ましい金額について

外貨持ち込み制限があるため、**20 万円相当をユーロで持参**してください。生活立ち上げに必要な金額の大きい支出はクレジットカードで支払ったり、現金が足りなくなったりしたら、キャッシングも可能であるため、カードに紐づいている口座の残高にもご注意ください。

なお、アビジャン区内の住居は、月額 40~70 万 Fcfa (10~17 万円) 程度が想定されています。契約時及び契約時前後に、

- ① 初回家賃(1~2 か月分)
- ② 不動産手数料 (1 か月分)
- ③ 住居保証金 (Garantie と呼ばれるもの。1~2 か月分を請求される)
- ④ 家具等の購入費

を支払う可能性があります。①②に関しては JICA から支給することを予定していますが、③は住居解約時に大家と確認を行い、現状復帰に必要な手数料を引いた金額が大家より返金されるため、JICA から支給できません。また、④については物件によって備えつけの家具が異なりますが、基本的に隊員が購入します。

アビジャン区内においても居住エリアや物件次第で状況が大きく異なるため、赴任後に個別に説明しますが、生活立ち上げ時に大きな支出があることを事前にご了承ください。

5. 治安状況について (JICA の安全対策については、隊員ハンドブックを参照)

【一般犯罪の状況】

アビジャンでは、官庁街のあるプラトー地区や大使館、大使公邸等が多数あるココディ・アンバッサード地区では一般犯罪は最近あまり見られないものの、一部の地域では商店、銀行、モバイルマネー入金所等における強盗 (銃を用いたものも含む)、路上でのバイクを用いたひったくり等の犯罪が見られます。また、麻薬の取引をはじめとする組織的な犯罪についても治安機関は危機感を持って対応しています。特に人口が密集するアボボ、アジャメ、ヨブゴンなどの地区においては、ナイフなどの凶器を用いた強盗や略奪などの犯罪が多発傾向にあり、外国人がターゲットになりやすいとされています。

地方においては、上述のような犯罪に加え、コミュニティ間の衝突事案が発生しやすく、特にカカオ等の収穫期 (9 月~12 月)、見通しが悪い道や夜間における道路封鎖強盗事案が発生していま

す。

【地域情勢の影響】

サヘル地域におけるイスラム武装勢力の活動が活発化する中、2016年3月にはアビジャン近郊の海岸保養地、グランバッサムで襲撃事件が発生、外国人を含む19名が犠牲になりました。

以降、同規模の事案は発生していないものの、特に2021年以降、ブルキナファソはじめ周辺国のテロ関連事案は大幅に増加しており、周辺国からテロリストが国境を越えて当国に侵入するリスクも上昇していると言われています。実際に、2020年から2021年にかけて北部ブルキナファソ国境地帯でテロリストによると思われる治安機関への襲撃事案が複数回見られたほか、2023年初めからは北部国境地帯におけるブルキナファソ難民の大規模な流入が社会問題となっています。

その他、外務省海外安全ページのコートジボワールページも参照願います。

[海外安全ホームページ: 安全対策基礎データ](#)

6. 交通事情について

アビジャンの交通マナーは非常に悪く、交通事故が多発しています。特に、スマートフォンアプリの発達に伴い、地域の道路を熟知していないタクシードライバーが増えており、スマートフォンを見ながらの運転や急な車線変更などが事故の原因となっています。

地方においても、都市を結ぶ道路網の整備が進むにつれ、特に高速道路上での大型車両を巻き込んだ重大交通事故が増加しており、治安機関による速度超過違反の取り締まりや、路上での車検証・免許証の確認等が強化されています。その反面、地方都市では幹線道路を除けば未整備道路も多く、特に雨季の道路状況には注意が必要です。

7. 医療事情について

・医療事情は劣悪であり、特に地方では邦人が受診可能な医療機関はありません。よって、傷病時には原則として、首都の医療機関にかかる事になります。首都への移動は時間と労力がかかり、傷病時は特に負担がかかる状況となるため、日頃から疾病予防及び事故防止に努めることが大切です。到着後にはこれらの事情を含め、健康管理に係るオリエンテーションを行います。

・コートジボワール渡航前に、日本で歯科治療や既往症の治療(主治医による処方含む)を行うことを強く推奨します(こちらの医療レベルは日本と比べてかなり低いため)

・流通事情でワクチンの入荷が突如困難となることがあります。JICA推奨のワクチンではできるだけ日本で接種して来ることをお勧めします。

・コートジボワールはマラリア流行国であるため、積極的にマラリア予防対策を実施しています。その支援として、マラリア予防薬の費用を補助しています。マラリア予防薬の服用を希望する方は、訓練所でのブリーフィングで詳細をご確認いただいた後に渡航外来等を受診し、処方を受けるようにして下さい。また、万全の感染予防対策のため、予防薬を渡航前から服用することをお勧めします。

・コートジボワール到着後は、予防薬を現物支給します。現在、配布できるマラリア予防薬は、ドキシサイクリン、またはマラロンです(マラロンは当地において流通が不安定かつごく少数であるため、基本的にはドキシサイクリンの予防内服になります)。

・以下、渡航前に準備すべき物品(推奨を含む)です。一覧下の詳細説明も、参考にして下さい。
※リストに記載がないものでも、各自が必要な物は持参して下さい。

必ず持参
<input type="checkbox"/> ヘルスレコード(予防接種歴記載済みのもの)
<input type="checkbox"/> 電子体温計(替えの電池含む)
<input type="checkbox"/> マスク★(現地でも購入可だが、少なくとも渡航時～数日分)
<input type="checkbox"/> 既往症の薬(各自による)
事前の購入を推奨 ★印…現地でも購入可。ただし日本の製品・質を重視する場合は、持参を推奨。
<input type="checkbox"/> マラリア予防薬
<input type="checkbox"/> 常備薬★(各人で必要な薬：整腸剤・胃薬・皮膚治療薬・かゆみ止め・アセトアミノフェン成分の解熱剤 ※以下、説明参照)
<input type="checkbox"/> 救急処置物品★(絆創膏・ガーゼ・包帯、冷えピタ等)
<input type="checkbox"/> 経口補水液の粉末★(スポーツ飲料の粉末等)
<input type="checkbox"/> 防蚊用品★(虫除けクリーム・スプレー・蚊取り線香)
<input type="checkbox"/> 日焼け止めクリーム・保湿クリーム★(※以下、説明参照)
<input type="checkbox"/> (必要な方) コンタクトレンズ・ケア用品一式★希少 (※以下、説明参照)
<input type="checkbox"/> 生理用品★(※以下、説明参照)

・市販薬は、処方箋があれば薬局で購入可能ですが、日本の医薬品は入手できず、また風邪薬など日本のように種類も豊富でないため、常備薬が必要な人は必ず持参して下さい

・マラリアやデング熱等感染時は合併症として易出血となる可能性が高く、ロキソニンのような非ステロイド系抗炎症薬(NSAIDs)の服用が好ましくない場合もある(副作用として出血を助長する場合あり)。そのため、解熱鎮痛薬としてアセトアミノフェンの成分を含む常備薬(カロナール、タイレノール等)を合わせて持参することを推奨します

・当地は高温多湿の気候、衛生環境も良くないため皮膚の病気が多いです。アレルギーのある人、あせもがすぐ出る人は、現在無症状であっても、使い慣れた治療薬などの持参をお勧めします。また、強い日差しやマラリア予防薬の副作用による光線過敏症を起こすことがあるため、日焼け対策が必要です。

・当地は、砂埃が多くコンタクトレンズの使用はお勧めしませんが、それでもコンタクトレンズを使用する場合はケア用品一式を持参した方がよいでしょう(コンタクトケア用品はコートジボワールでは稀少で高価です)。予備を含め眼鏡を持参することをお勧めします。

・生理用品は、当地でもヨーロッパ製のもの等を購入できますが、肌が荒れたり、かぶれたりしやすい方は、使い慣れた日本製のものを持参することをお勧めします。

なお、当国で受診する際、治療費が高額になる場合はキャッシュレスメディカルサービスを利用する場合があります。派遣前訓練の医療保険に関する講座で案内がありますので、赴任前に各自でキャッシュレスメディカルサービスの申請をお願いします。

その他、外務省世界の医療事情のページも参照願います。

[コートジボワール共和国 | 外務省](#)

8. 蚊帳について

当国はマラリアの汚染地域であり、就寝時の蚊帳の使用は必須です。当地であれば、天井からつるすタイプとテントタイプが手に入ります(10,000～20,000 Fcfa)。

9. 任国での運転について

当国では、隊員の車やバイクの運転を認めていません。

10. お問い合わせ

任国での活動に関する質問は、訓練所スタッフを通じてお問い合わせください。

以上